



TITLE:

オンラインで7,000タイトル --電子
ジャーナルへの誘い--

AUTHOR(S):

CITATION:

オンラインで7,000タイトル --電子ジャーナルへの誘い--. 静脩 2003,
40(1): 14-15

ISSUE DATE:

2003-05

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/37711>

RIGHT:

オンラインで7,000タイトル 電子ジャーナルへの誘い^{いざな}

情報サービス課参考調査掛

電子ジャーナルとは、論文をデジタル化し、Web上で読めるようにした雑誌です。電子ジャーナルは、冊子体（紙に印刷された形態）の雑誌と比較して

24時間いつでも研究室の端末等から印刷・ダウンロードができる

速報性がある（ジャーナルによっては、出版前の論文が見られるものもある）

ハイパーリンクで参考文献の参照等が容易
全文検索ができる場合もある

等のメリットがあり、今や学術研究には必要不可欠な存在となっています。

現在、京都大学では、およそ7,000タイトルの電子ジャーナルを利用することができます。以下で、利用にあたって知っておくと便利な事柄をご紹介します。

1．電子ジャーナルが使える環境

電子ジャーナルは、無料で提供されているも

のもありますが、ほとんどは出版社と契約をして利用可能になっています。契約により提供されている電子ジャーナルは、利用資格があるかどうかの認証を経る必要があります。多くはIPアドレス（各端末に割り振られた番号）に基づいて、それが京都大学内の端末であることを認証する方法を取っています。現在、通常、契約上認められているIPアドレスは【130.54.**】（吉田地区）、【133.33.**】（宇治地区）です。学外の端末からはほとんどの電子ジャーナルは利用できませんのでご注意ください。

2．電子ジャーナル利用の入り口

次に、京都大学で電子ジャーナルを利用するときの入り口をいくつかご紹介します。


(1) 京都大学電子図書館学内向けサービス「電子ジャーナル」ページから

(<http://ddb.libnet.kulib.kyoto-u.ac.jp/lusr/gakunaiej.html>)



上記ページの「電子ジャーナル一覧」では、アルファベット順リスト、分野別リスト、出版社別一覧（全ての出版社ではない）を用意しています。この電子ジャーナルページでは他にも、新規追加やトラブル情報など、電子ジャーナルに関する最新のニュースを提供しています。

(2) 京都大学OPACの検索結果から

京都大学OPAC（<http://kensaku.libnet.kulib.kyoto-u.ac.jp/>）の検索結果（書誌詳細表示）に、 というボタンがあれば、それが電子ジャーナルへのリンクです。ただし、OPACで検索できるのは京大で利用できる電子ジャーナルの一部分のみで、全てを検索することはできません。OPACで電子ジャーナルが見つからなくても、上記「電子ジャーナル一覧」で必ず確認してください。

(3) データベース検索結果から

Web of Science、SwetScan、ERL（BA、MEDLINE、PsycINFO、GeoRef、Zoological Record、ERIC）、PubMed（京大専用入り口）、SciFinder Scholar等、学内で利用可能なデータベースには、電子ジャーナルへのリンク機能をもつものがあります。「Online Journal」「View Full Text」等のリンクやボタンが目印になります。ただし、このリンクがなくても電子ジャーナルで利用できる場合もありますので、やはり、上記電子ジャーナル一覧を確認してください。

3. 電子ジャーナルからデータベースへの多彩なリンク機能

電子ジャーナルのフルテキストの表示形式には、PDF形式とHTML形式があります。PDF形式は印刷イメージですが、HTML形式はブラウザから参照することができ、参考文献からは下記のようなリンク機能が利用できる場合があります。

(1) PubMed（MEDLINE）などの他の文献情報データベースにリンクされていて、アブストラクト等が参照できます。

(2) 「ISI」という表示がある場合、Web of

Science とリンクされていて、アブストラクトや、その雑誌のインパクトファクター、当該論文が他の論文に引用された状況等を参照することができます。（Web of Scienceを参照した場合は必ず画面右上のLogoutボタンをクリックしてください！）

(3) 他の電子ジャーナルへのリンク

・フルテキストへのリンク

「Full Text」「CrossRef」「Chemport」「PubMed」等へのリンクから、無料の電子ジャーナル、及び京都大学が契約している電子ジャーナルのフルテキストが参照できます。

・当該論文を引用している他の論文のフルテキストへのリンク

4. 電子ジャーナル利用のルール

電子ジャーナルの利用にあたっては、供給元である出版社が使用許諾条件を定めています。どの出版社においてもおおむね以下の事項は禁止されています。

(1) 一括してのダウンロード

(2) 個人利用以外の利用

(3) 複製や再配布

条件に違反した場合、大学全体の一定期間利用停止等のペナルティが科せられる場合があります。

たとえば、AIP（American Institute of Physics）の電子ジャーナルは、平成14年度一年間で計4回利用停止になりました。その原因として、研究会で論文を比較するために250件程度の論文を一度にダウンロードした、という例がありました。利用者自身が利用停止になるような使い方であるとは思わなかった、というケースもあるようです。

電子ジャーナルの利用にあたっては、上記ルールを遵守するよう、あらためてお願いします。各研究室の先生方は、学生・研究生のみなさんへのルールの周知を徹底していただくよう、よろしくお願い致します。